

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	ヒト肝臓線維症の病態進展に関わるマトリックス蛋白の検索
	研究目的	本研究は、肝臓の線維症・肝硬変の病状が進行することに深く関わるものが予想されるマトリックス蛋白（細胞の外にあり組織の骨格を構成する蛋白質の総称）を解析して、疾患の質的な違いや憎悪の有無を予知する為の基礎データの樹立を目的としている。
	研究期間	2017年1月12日から2020年3月31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科（肝胆膵、大腸）、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	リバプール大学トランスレーショナル医学研究所・分子臨床薬学部門 酒井尚雄 英国（匿名化した病理組織アレイ切片）